

1994年7月29日(金)
-発行-第170号
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

スポーツ大会



第7回入スポーツ大会が、6月26日に芳賀町トレーニングセンターで行われました。9時半過ぎからほちほちと集まり始め、10時から直井君の開会の言葉で開会式が始まりました。香藤会長のあいさつ、準備体操に続いて、酒巻さんの元気ある選手宣誓で競技が始まりました。

最初の競技は、車イスを後ろ向きで操作する車イスリレーです。さすがにいつも車イスを使っている仲間の上手でトップでしたが、慣れない保護者はあちこちにフラフラと進んで着くのが大変でした。

最初の競技は、車イスを後ろ向きで操作する車イスリレーです。さすがにいつも車イスを使っている仲間の上手でトップでしたが、慣れない保護者はあちこちにフラフラと進んで着くのが大変でした。

最優秀選手・・・野中隆司

《チーム順位》

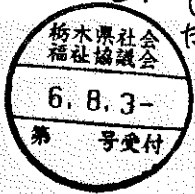
- 1位 白カチーム (犬橋 義一)
- 2位 野郎チーム (直井 信也)
- 3位 市内チーム (阿部 仁美)
- 4位 アマゾンチーム (見目 アイ子)
- 5位 上三川チーム (岸 直美)

※()内、チーム内のM.V.P.



プレイヤ珍プレイなど、作業所では見られない仲間の姿が見られました。

閉会式では、所長の講評、香藤会長による表彰式、野中君の開会の言葉で幕を閉じました。

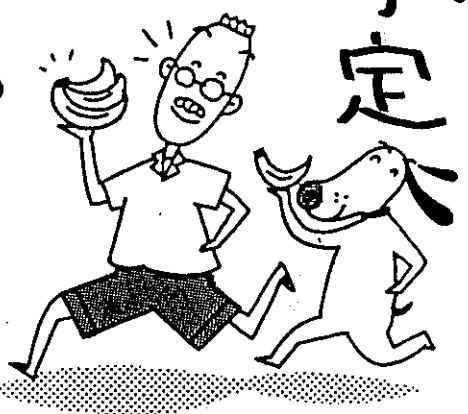


かんぴょう作業 導入!

ベアリング、パイプにも受注量が減りすぎて収入も不安だ。たこぶしでは、少しでも収入を増やし、また将来の産油石けん作業導入を見すえつつかんぴょう袋詰め作業を導入しました。

8月の予定

- 5(金) プール
- 6(土) 職員会議
- 7(日) 休所日



- 13(土) お盆休み
- 16(火) 除草作業日
- 17(水) 共済員研修会
- 18(木) 療育訓練
- 19(金) 療育訓練

- 20(土) 休所日
- 21(日) 休所日
- 24(水) ホルプチャリ絵画展
- 27(土) 職員会議
- 28(日) 日曜作業所
- 29(月) 28日の振休



この作業はこぶしではすでにおなじみ、一昨年度までヒリくんで行ったもので、種取り↓計量↓袋入れ↓シララー止めの4工程に分かれた作業です。今回は、一昨年よりも単価が上がり、収入増も見込めそうです。

作業のメンバーは、一年ちよっとのプランクがあったにも関わらず、確実に種取りをする塚田さん、相変わらず仕事の速い小池さんの経験者ベアリングやパイプの抜き頭で飲み込みの早い大橋さん、早く名人に打ちたい松永君の4人です。

ベアリングの生産量を確保しなげはならないため、当面午前中だけの作業ですが、意欲に燃えて張り切っている4人です。

ベアリング作業

作業所生活を仲間のカで自主的に運営していく。つまり作業所の主人公として力を発揮するためには自治会活動を中心にとりまくらなければならない。往々にしてスローカンだけになりがちです。

題目だけにならないためには主人公にふさわしい力を少しづつつけていこう。主人公になつてゆくことが大切だ。

ベアリング作業の中では、小林君のいない中で、酒巻さんと大橋さんが自分たちの仕事の管理の仕事をおまかせ、一生涯命を懸けています。

ベアリングのピンの大きさと種類が混らないように、リサイクルや干びよう作業を含め三つの作業の人員配置を仕事の量で決めること。ベアリングの数を(数百個になり、指定された数を箱に入れます)数えぬ納品書と控えの日記を書くことなど職員の仕事、大事な事も沢山あります。

ひとつひとつの仕事の意味を分かち、もらい、単に電卓で機械的に数えるのではなく、十進法のすばらしさを感じながらここの仕事をしていきます。

納品の時間との闘いの中で、机に向って二人は、知的な障害を持つ彼等だからこけ輝いて見えます。

高橋